



	学 習 内 容		学 習 の あ し あ と			記録の整理と重点の振り返り
	運 動 の 側 面	集 団 の 側 面	時 間	今日をめざす姿	今日の振り返り	
リ レ ー	<p>【リレー】 次走者は、後ろを振り返らずにスタートダッシュし、前走者の合図で手を上げてバトンパスをしよう。 ・前走者の合図で手を上げよう。 ・後ろを振り返らないように加速していこう。 【練習記録会】</p>	<p>仲間の課題をもとに、教え合い、励まし合いながら活動しよう。 ・仲間の課題がどこにあるのかみんなで見つけてみんなで確認し合おう。</p>	5 時 間 目	<p>【技能面】</p>	<p>【技能面】</p>	<p>【ダッシュマークの位置の確認】 ペアとのダッシュマークの位置は、 _____ 足</p>
			<p>【仲間づくり】</p>	<p>【仲間づくり】</p>	<p>【バトンパスについて次の時間にどんなことを気をつけていきたいですか？】 . .</p>	
	<p>前走者の動きに合わせてダッシュマークの位置を調整し、テイクオーバーゾーン内でバトンパスをしよう。 ・ダッシュマークの位置を見つけよう ・ゾーンの使い方を工夫しよう。</p>	<p>・仲間が練習しているときは仲間の姿を確認し、課題に沿ってアドバイスをしよう。</p>	6 時 間 目	<p>【技能面】</p>	<p>【技能面】 的確なダッシュマークを見つけるために工夫したことはどんなことですか</p>	<p>【グループの仲間に確認してもらいたいところは？】 . . .</p>
			<p>【仲間づくり】</p>	<p>【仲間づくり】</p>	<p>今日のタイム (前時との差)</p>	
<p>2人のスピードを落とさないバトンパスをしよう。 ・ダッシュマークの位置を調整しよう。 ・ゾーン内で待つ位置を調整しよう。 【練習記録会】</p>	<p>互いに技能の向上を認め合い、競技会で最高タイムを出すためにひとりひとりが精一杯力を発揮しよう。 ・仲間の頑張りを見つかけよう。 ・互いの努力を認め合おう。</p>	7 時 間 目	<p>【技能面】</p>	<p>【技能面】</p>	<p>めざす仲間の姿に近づくことができましたか？</p>	
<p>【仲間づくり】</p>		<p>【仲間づくり】</p>	<p>今日のタイム (前時との差)</p>			
<p>最高タイムを目指して今までの成果を全力で出し切る。</p>	<p>【技能面】</p>	8 時 間 目	<p>【技能面】</p>	<p>【技能面】</p>	<p>目標タイムは？</p>	
<p>【仲間づくり】</p>		<p>【仲間づくり】</p>	<p>競技会の結果は？</p>			

6 学習カードの活用の仕方と評価への生かし方 (個人学習カード)

陸上競技 短距離走・リレー <学習カード その1>

G 氏名

	学 習 内 容		学 習 の あ し あ と		めざす姿への達成	記録の整理と重点の振り返り
	運 動 の 側 面	集 団 の 側 面	今 日 の め ざ す 姿	今 日 の 振 り 返 り	達 成 度	
計 画	ねらい 「低い姿勢からスタートダッシュで加速し、大きな腕振りを生かした中間疾走のフォームで走りきる【短距離走】」 「テイクオーバーゾーン内で、前走者と次走者の2人のスピードを落とさないバトンパスをめざそう【リレー】」	ねがい 「仲間の課題をもとに教え合い、励まし合いながら活動しよう」	1 時間目 【技能面の目標】 【仲間つくりの目標】 オリエンテーション中のビデオや先生の説明からスタートの仕方やバトンパスの仕方であったことや大切にしていかなければならないことはどんなことですか？			【準備運動】 トラック1周(バトンパスで) 体操・ストレッチ 日替わり補強運動 流し 100m  【計画会】リーダーの司会 グループ目標・個人目標決め 技能面の確認 仲間づくり・きまりの確認
短 距 離 走	500m・100mを全力で走りきる。 ・自分の力を知り単元の目標をもとう。	グループ内での自分の役割を果たし係の指示でまとまって活動しよう。 ・自分の役割の活動内容を知って積極的に活動しよう。 ・リーダーをはじめ係の指示によってみんなでまとまって活動しよう。	2 時間目 【技能面】 【仲間つくり】	【技能面】今後の課題はどんなこと？ 【仲間つくり】		【タイムトライアル】 記録 % 記録 次回目指したい記録
	【短距離走】 低い姿勢から素早く飛び出すスタートをしよう。 ・スタートブロックの使い方を覚えよう。 ・強くかけて低い姿勢でスタートしよう。		3 時間目 【技能面】 【仲間つくり】	【技能面】 【仲間つくり】		低い姿勢で素早くスタートできましたか？ <スタートダッシュの反省>
	素早い飛び出しから加速し大きな腕の振りを生かした中間疾走をしよう。 ・リラックスして大きな腕振りをしよう。 ・肘に意識を集中して腕振りをしよう。		4 時 目 【技能面】 【仲間つくり】	【技能面】 【仲間つくり】		【タイムトライアル】 走る距離 M 目標タイム 記録

単元を貫く「運動と集団の側面」の両面からの課題を提示することで常に生徒に意識させる。

グループや個人の課題が明確になっているかどうか内容と考え方を確認する。(思考・判断) また、個人の課題に対する振り返りを記述させ、「意欲・関心態度」「思考・判断」の評価に生かしていく。

学習内容を理解し、見通しを持って意欲的に学習していくために、単元時間の具体的な学習内容を記載する。

個人の単元を貫く目標を記入させ、個々がどんな目標を持っているか把握し、個への指導への充実を図る。(意欲・関心・態度)

単位時間における観点別の評価規準にしたがって(具体的な学習内容)記録の整理や学習内容に対する振り返りを行い、特に重点となる観点を記入する。その記入の仕方は、記録のみ(数字)であったり、振り返りとして文章で記述させるなど、単位時間によって異なる形式とした。学習内容の重点を生徒によりわかりやすく示す。(技能の向上)(思考・判断)

個人のめざす姿と振り返りから各自の高まりの充実を達成度を%で表し、次時への意欲を高めたりする。(意欲・関心・態度)

生徒の学習に対する意気込みや願いなどが表れやすい文章記述を中心とする。グループ会など時間の制限もあるので、PO・MOカードは文書記述を少なくし、この学習カード(個人カード)においては、状況に応じて授業後に記述させるように配慮する。